

JR篠原駅 自由通路および橋上駅舎の供用開始について

1. JR篠原駅 自由通路および橋上駅舎の完成

- 【整備概要】
- ・ 駅南北自由通路の設置
 - ・ 駅自由通路内に多目的トイレの設置
 - ・ 橋上駅舎の設置
 - ・ 改札内エレベーター 2基
 - ・ 自由通路エレベーター 2基
 - ・ 自由通路エスカレーター 2基

開業:1921年(大正10年)4月20日
乗降客数:4,120人/日(H26年度)

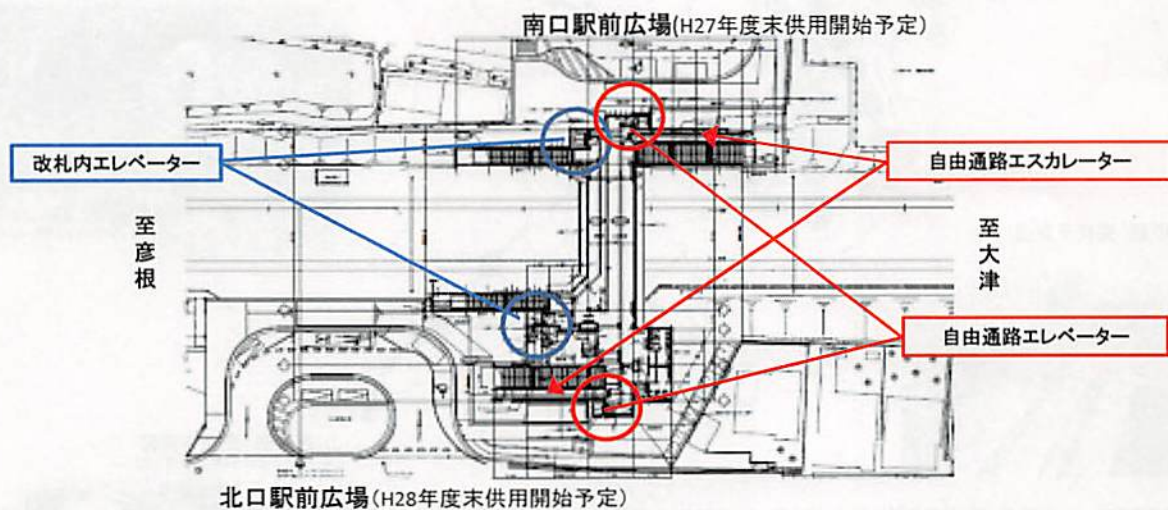
【事業主体】 鉄道施設 西日本旅客鉄道株式会社
都市施設 篠原駅周辺都市基盤整備推進協議会(近江八幡市、野洲市、竜王町)

【工期】 平成24年7月27日～平成29年3月末
平成27年9月19日に南北自由通路および橋上駅舎部分を供用開始。
*南口駅前広場はH27年度末、北口駅前広場はH28年度末に供用開始予定

【事業費等】 鉄軌道関連施設整備事業分 (単位:千円)

種別	事業費	負担内訳			
		県(1/3)	市(1/3)	国	JR(1/3)
鉄道施設 (改札内)	21,750	7,250	7,250	—	7,250
都市施設 (自由通路)	600,525	62,763	207,474	330,288	
合計	622,275	70,013	214,724	330,288	7,250

※金額はいずれも交付決定時のもの



駅 完成イメージ図



駅南口側内観イメージ



駅北口側内観イメージ

鉄道駅バリアフリー状況

作成: 滋賀県交通戦略課

- 乗降客数3,000人/日以上でバリアフリー化済み
- 乗降客数3,000人/日以上でバリアフリー化未整備
- 乗降客数3,000人/日以下でバリアフリー化済み
- 乗降客数3,000人/日以下でバリアフリー化未整備

整備率【H27年9月19日時点】

JR東海道新幹線	100.0% (1駅/1駅)
JR在来線	58.6% (34駅/58駅)
京阪電気鉄道	20.8% (5駅/24駅)
近江鉄道	51.5% (17駅/33駅)
信楽高原鐵道	100.0% (5駅/5駅)
比叡山鐵道	0% (0駅/4駅)
合計	49.6% (62駅/125駅)
3,000人/日以上	81.0% (34駅/42駅)
3,000人/日未満	33.7% (28駅/83駅)



※内方線点字ブロックの整備が必要な駅(利用客1万人/日以上)の駅

- 南彦根駅(整備済)、守山駅(整備中)、南草津駅(H27年度整備予定)
- 大津駅・膳所駅・石山駅・瀬田駅・草津駅・栗東駅・野洲駅・近江八幡駅
- ・能登川駅・彦根駅・大津京駅・おごと温泉駅・堅田駅

